

長浜「なぎさの湯を無くさないで」市民の声

12月議会で梅木かつこ議員は、「なぎさの湯」に対する市長の政治姿勢について以下のように指摘しました。

大洲城に建設予定の風呂とレストランが3~4000万円できるといのに、なぎさの湯の改修には9000万円程度かかるとしています。どこの見積もりか説明しませんでした。また、なぎさの湯を無くした場合の住民の暮らしを支えるために、「別の場所での建設や規模は小さくてもいい」の市民の声に答える検討も行われていません、廃止の理由は「風呂の無い人は9人しかおらず、生活保護や福祉貸し付けなど進める」としてあり、なぎさの湯が地域で果たしてきた、健康や憩いの場であること、観光の場であることへの配慮は示されませんでした。その上、地域住民への説明会も拒むなどひどいやり方です。こうしたやり方で、これから周辺地域の施設運営廃止が平気で行われたら、周辺地域の方々は安心して暮らせません。そこに住む人々の声を聞き、市長としての見解を示しながら、妥協点を求めて、市の活性化のための手だてをとることこそリーダーのすべきことではないでしょうか。

まちなか再生館が赤字を生み、市長が代表理事であるキタマネジメントに引き継がれます。赤字でも市民にとって必要なものはやる、ということではないでしょうか。

12月議会で提案された予算の主なもの

単位：千円

○徳の森児童センター 跳び箱1台：66

○保育所運営費：234

菅田保育所 キーボード1台

粟津保育所 テーブル4台

白滝保育所 椅子5脚

○アフリカ豚コレラ進入防止緊急支援事業費補助金：15,333

交付先 愛媛県畜産協会

17,790m×4740円÷1.1=76,665千円

市1/5 (国1/2、県1/5 事業者へ直接交付)

○移住定住支援事業 補助金追加：7,000

○防災費：2,684

スマートフォンで防災無線放送を聞くことができる親機装置を導入

○被災児童生徒就学支援事業

平成30年度に被災した児童生徒で経済的に就学困難な保護者に学用品を給付。学用品、校外活動費、修学旅行費、学校給食費など

小学校 4,195

中学校 3,924

○平小学校校舎耐震化事業：12,225

校舎の耐震化、および屋内運動場の改築に伴い、学校グラウンドが仮設校舎、資材置き場などとして使用されることから、体育の授業などに使用することを目的に旧喜多医師会駐車場跡地を整備する

○オリンピック・パラリンピック推進事業：3,327

市内で聖火リレーを開催。2月23日(木)

市長、副市長、病院管理者などの

期末手当の引き上げについて

12月議会では議員や市長、副市長、病院管理者などの期末手当が引き上げられました。

議員期末手当 423千円

市長、副市長、教育長期末手当 139千円

市職員も人事院勧告に基づき、473人総額13,106千円が予算化されました。梅木かつこ市議は期末手当の引き上げに対して、以下の理由で反対しました。

期末手当の引き上げは、これまでの年間3.35ヶ月を3.40ヶ月にするものです。合計は66万2000円です。昨年の災害の影響で市民の皆さんの生活再建はまだこれからです。その上、消費税の引き上げで暮らしは大変になっています。市長は「消費税増税をすべき」の立場であり、議会は消費税反対の請願を不採択にしました。そんな中、期末手当の引き上げはすべきでないと考えます。